

オンライン教育の普及を促す 教育のオープン化

重田勝介

北海道大学 情報基盤センター准教授
高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター 副センター長

2020年11月20日 CCC-TIESシンポジウム2020



These slides are under the Creative Commons License Attribution-NonCommercial 4.0 International (CC BY-NC 4.0)

重田勝介 (しげた かつすけ)

- 北海道大学 情報基盤センター 准教授
高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター
副センター長 (eラーニング部門長)
- 大学ICT推進協議会(AXIES) ICT利活用調査部会 主査
- Board of members, Open Education Global
- Open Education Japan 代表幹事
- JMOOC、Asuka Academy 理事
- 専門分野
 - 教育工学・オープンエデュケーション
 - 研究：学習履歴データによる教育改善
高等教育機関のICT教育実態調査
 - 「MOOC入門」
「オープンエデュケーション」



教育のオープン化

- Much of the interesting and innovative activity in higher ed happens **around the concept of openness.**

高等教育における興味深く革新的な活動の多くは「オープン」の概念の周りで起こっている

- Martin Weller (Professor, Open University, UK)

A journey through open education – The Ed Techie
<http://blog.edtechie.net/ou/a-journey-through-open-education/>

OER : open education for inclusive learning

- Open Textbook（オープン教科書）の大規模導入
- 大学間連携（連邦政府，寄付財団支援）による OER Degreeの開発提供
- 教育機会の均等化を達成するための教育コンテンツ



MOOC : open, but paid service

- MOOCの開講による高等教育のショーケース
- MOOC Degree（MOOCを使った学位プログラム）の拡充
- 実務家教育への利用

CLASS CENTRAL


101M
Students


900+
Universities


11.4k
Courses

米国におけるMOOC+LAの普及

- 有料講座に変わりつつあるグローバルMOOC
 - コンテンツ閲覧は無料、能力認定有料（修了証）
 - コンテンツ閲覧から有料（Coursera）
- LA（ラーニング・アナリティクス）による教育の質向上
 - 単位を落としそうな学生(at-risk student)の発見
 - パーソナライズド学習の普及
- EdTech企業によるコンテンツ・プラットフォームのビジネス化

EUにおけるオープンエデュケーション

① 包摂と平等 (Inclusive and equitable)

- ・あらゆる人々を受け入れる教育と生涯教育へのアクセスを拡張

② 教師と生徒の学習機会

- ・教材基盤としてのOER

③ デジタル社会に十全に関わる知識の普及

- ・デジタルリテラシーへの注力



Open Education and OER (ALT)
https://www.alt.ac.uk/news/all_news/open-education-and-oer-guide-and-call-action-policy-makers

SDGs（持続可能な開発目標）

Sustainable Development Goals

- 国連開発計画(UNDP)により策定
- 4つ目の目標「Quality Education」



持続可能な開発目標（SDGs） | 国連開発計画（UNDP）

<http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sdg/post-2015-development-agenda.html>



オープンエデュケーションの意義

- 教材共有
 - 教育の機会均等に貢献（国際教育協力）
 - OERの再利用（リユース）による多様化
- 教育改善
 - OERを教育現場で活用
 - OER, MOOCを用いたブレンド型学習
- 生涯学習
 - 広く一般に向けた学習機会の提供(リカレント教育)
 - Coursera, edX, FutureLearn, JMOOC…

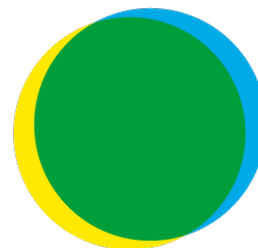
コロナ対応 × OER

北海道大学の事例

北海道大学のICT活用教育 推進体制



北海道大学
情報基盤センター
HOKKAIDO UNIVERSITY
INFORMATION INITIATIVE CENTER

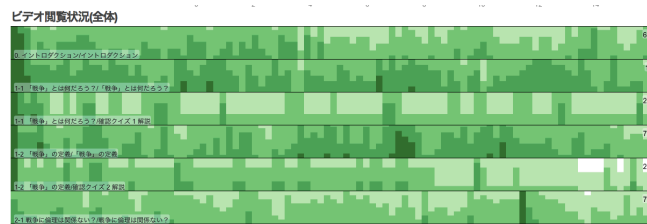


北海道大学
オープンエデュケーション
センター
CENTER FOR OPEN EDUCATION

- ICTインフラ面：情報基盤センター
- ICT教育支援面：高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター
 - 全学的なオープン教材（OER：Open Educational Resources）を活用した教育・学習支援を実施（eラーニング部門）
 - OERに関する研究開発を推進（eラーニング部門）
 - 科学技術コミュニケーション教育研究（CoSTEP部門）

オープンエデュケーションセンターの取組

- 「教育改善」のためのICT活用教育の導入とオープン化
 - 学内教育改善のためのOER開発、授業支援
 - プラットフォーム構築、LAツール開発
 - 国際化と広報のためのMOOCとOCW



全学的なオンライン授業実施への対応

- 教職員と学生に向けた情報提供
 - 「オンライン授業導入ガイド」の公開（4/8～）
 - 教職員と学生向け
 - オンライン授業についての考え方の整理とtipsの提供
- ウェビナーの開催
 - 「オンライン授業検討会」毎週1,2回の定期開催
 - 累計で1800人以上が参加
- 同時配信授業の支援
 - 医学部における遠隔授業の実施支援（2～4年生）

オンライン授業導入ガイドの公開



このページでは、北海道大学の教職員学生に向けて、オンライン授業（インターネットを使った教育学習）の導入方法について紹介しています。新型コロナウイルス感染拡大を受けてオンライン授業の導入を検討している教職員向けに、またオンライン授業の受講方法を知りたい学生向けに、オンライン授業の導入・実施方法を解説します。



オンライン授業とは？

まずはじめにこちらをお読みください。

オンライン授業の形態（同時配信授業・オンデマンド授業）の紹介と、それぞれの利点と注意点について解説します。

<https://sites.google.com/huoec.jp/onlinelecture/>

オンライン授業実施のためのOER開発

- CC-BY-NC 4.0で公開
- コンテンツ一覧
 - オンライン授業とは
 - オンライン授業の種類（同期型・非同期型）
 - 学生向け情報（オンライン授業の受講方法）
 - LMSの案内と機能，稼働状況
 - 著作物の扱いに関する情報提供
 - リソース集

オンライン授業導入ガイド 運用状況

- 18万ページビュー、14万人の訪問
- 検討会の開催概要・配布資料・録画映像の公開
- FAQの更新（約300件）
 - 寄せられた質問に対する回答の掲示（随時更新中）
- 全学LMSの稼働状況を掲載（随時更新中）
- 英語版の公開、FAQ公開

今後に向けて

- オンライン授業に関する知恵とノウハウを迅速に共有することができた
- 他大学からの利用もあり
 - ポータル等へのリンク掲載
- コロナ禍は大学間コンテンツを共有する契機に？
 - 実際は、オンライン授業対応のために各大学が独自のコンテンツを開発した（一部では一般公開）
 - 内容は似たり寄ったり
 - 大学ごとのツールやLMSの違い、ポリシーの異なりなど、共通化できる部分が少なかった？
 - 授業におけるコンテンツ共有にもあてはまる課題

リカレント教育 × MOOC

地方創生カレッジの事例

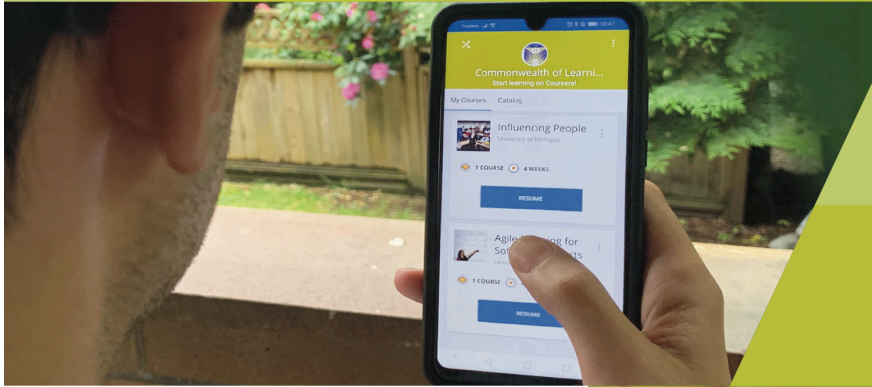
リカレント教育と オープンエデュケーション

- リカレント教育とは (※)
 - 学校教育を生涯にわたって分散させようとする理念
 - 「職業上必要な知識・技術」を修得するために、フルタイムの就学と、フルタイムの就職を繰り返す
 - 日本の場合のみ（長期雇用）
- オープンエデュケーションとの親和性
 - 就業しながら学ぶことができる利便性
 - 自らのキャリア形成に近いものを容易に選択
 - 「プレビュー」が容易（合わなければ受講を止める）
 - 能力証明を受けられる（MOOC認定証）

海外の事例

COL-Coursera Workforce Recovery Programme

- 政府間組織
Commonwealth of Learning
がCourseraと連携
- コロナ禍の間に雇用を得るためのスキルを取得するMOOCを無料で受講
- ヘルプデスクがコース選択の補助やカウンセリングを実施



**COL-Coursera
WORKFORCE
Recovery
Programme**

地方創生 カレッジ

- 内閣府事業
- 2016年度から継続
- 地方創生に関わる人材をeラーニングで育成
- 150の講座
- 公認会計士の資格更新講座に

The screenshot displays the website for Chihouseusei College. At the top, there are navigation links for 'Home', 'About Chihouseusei College', 'Search Courses', 'Enrollment Methods', and 'FAQs'. A search bar with 'Google カスタム検索' is also present. Below the navigation, there are icons for 'Chihouseusei College' and 'New Member Registration'. The main content area features a breadcrumb trail: 'Home > Overview > Basic Information > Introduction to Measures for Local Revitalization'. The 'Recommended Courses' section highlights '121: Introduction to Measures for Local Revitalization'. A detailed description of this course is provided, including its objectives and a list of topics: (1) Overview of local revitalization policies, (2) Regional investment promotion laws, (3) Professional human resources, (4) Local point-based system, (5) Local revitalization grant, (6) Local revitalization grant (Japan CCRC), and (7) Local revitalization grant. A note specifies that the detailed content of the measures is available as of March 2019, with some exceptions. Below this, there is a section for 'Tohoku University City Management Basic Skill Training Course' and an 'Introduction Video' player. The video player shows a woman speaking and a slide titled '人口減少の中で、地域はどうすべきか' (How should we deal with the region in the face of population decline?). The slide lists two incorrect approaches: 'Don't try to avoid decline' (Spiritualist view) and 'Don't try to reduce decline' (Pessimist view), and recommends 'Establishing a strategy'.

コミュニティ運営「連携・共有ひろば」

知りたい! 教えて! 地方創生のヒントが見つかる!

はじめまして ゲスト様 ▶ 会員のご登録はお済みでしょうか?地方創生のヒントとしてお役にたください

無料会員登録 ログイン

地方創生 連携・交流ひろば

交流掲示板 イベント・調査報告 実践事例 ビデオライブラリ 全国穴場マップ dancyu サイトについて 地方創生カレッジ

地方創生「連携・交流ひろば」は、

今、おもしろい地方が見つかる!
あなたのひと言で地方が変わる!

そのための **意見交換** のプラットフォームです。

※当サイトは内閣府補助事業です。

会員登録者数 **10,000人突破!!**

疑問 地方創生のヒントに! 悩み

掲示板で質問・意見交換ができる!

初めての方は会員登録から >

地方創生Q&A



みんなで作る知恵の共有掲示板!

地方創生の鉄人・有識者への質問もこちらから書き込むことができます。

地方創生Q&Aを見る >

地域おもしろ情報



今、地方がおもしろい!

全国各地の注目イベントや観光情報が
見つかる!(よしもと調べ等)

地域おもしろ情報を見る >

地方創生応援プロジェクト

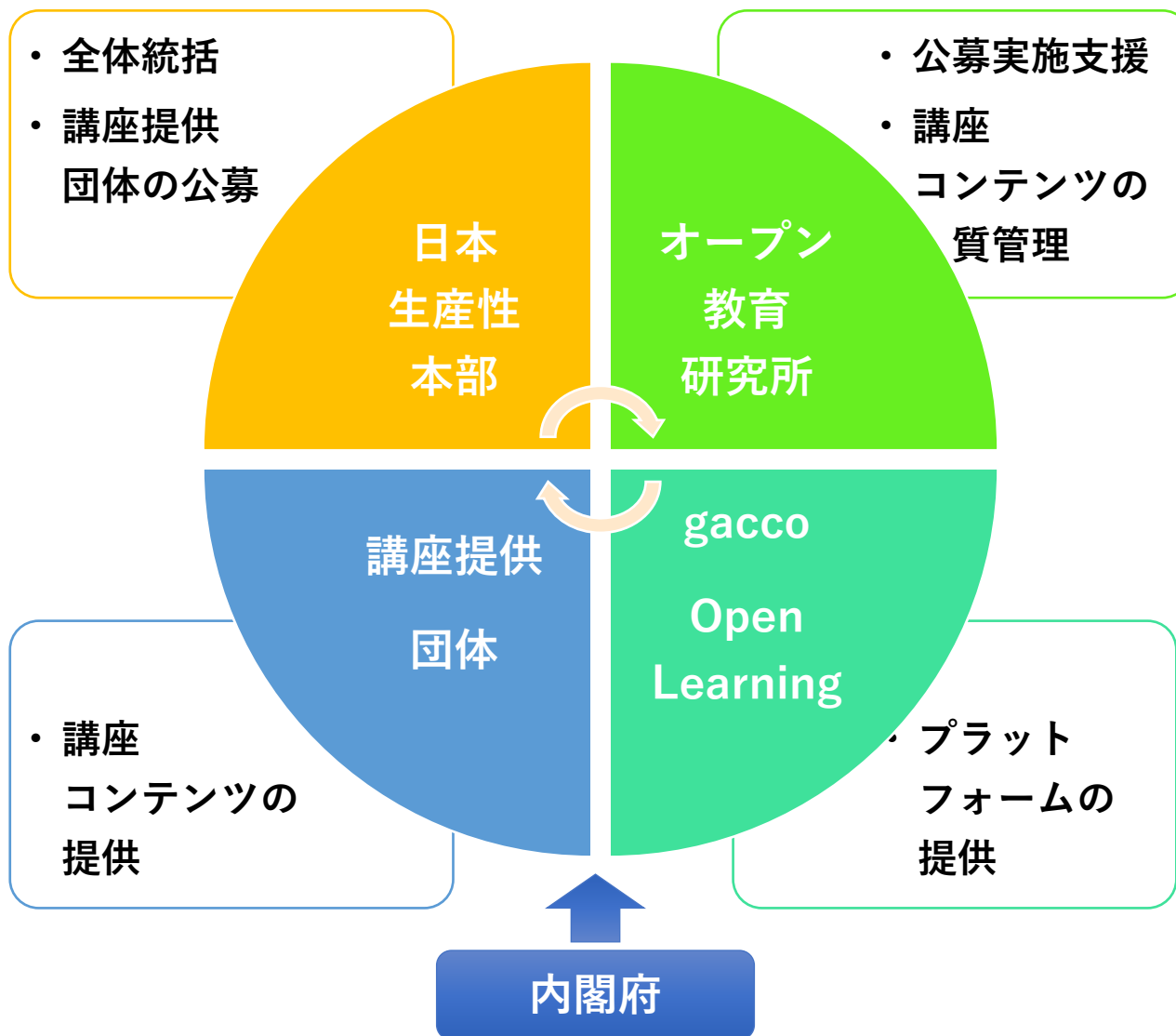


よんなな会、ちいきん会とは?

熱意ある集団が地域を盛り上げる活動を進行中! その内容をご紹介します。

地方創生応援プロジェクトを見る >

実施体制

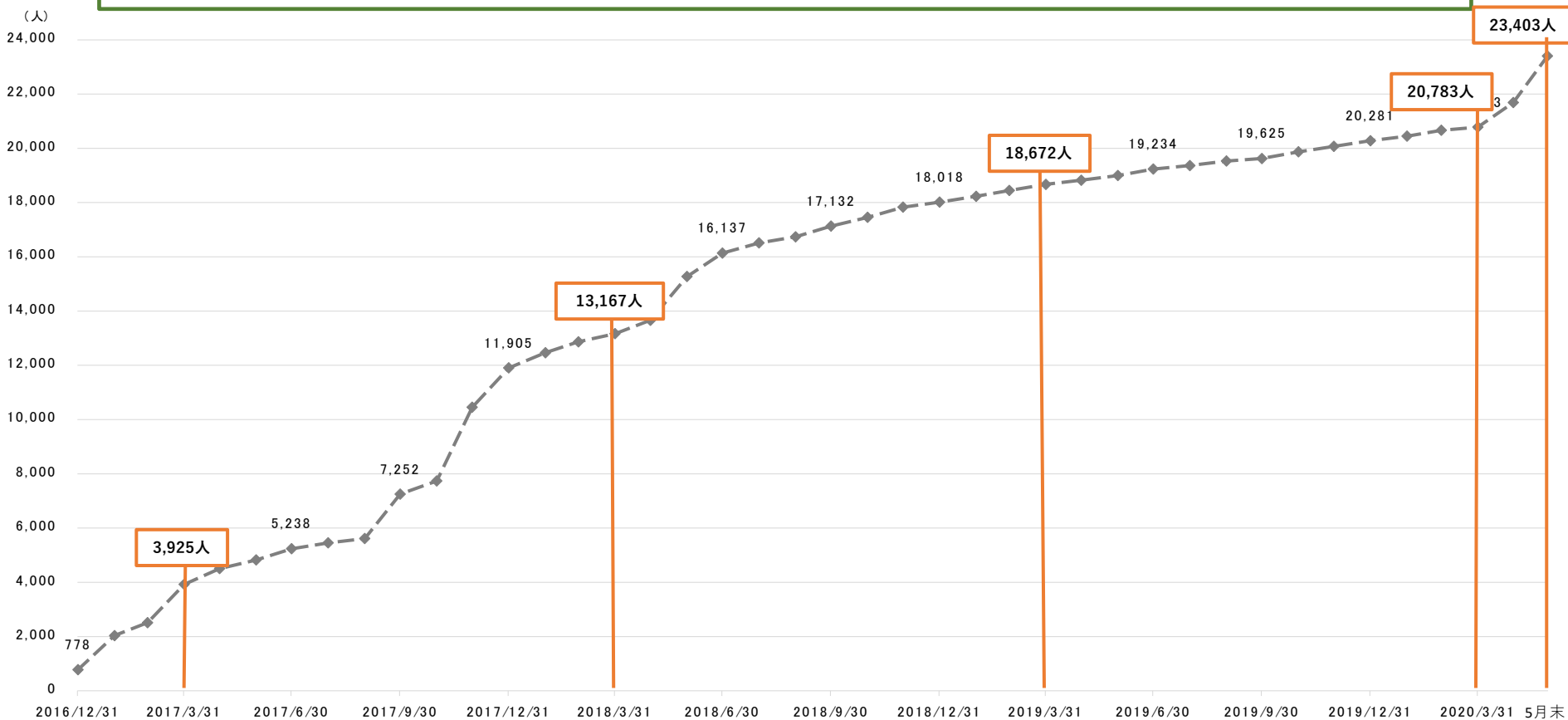


講座提供団体（例）

- ▶東洋大学PPP研究センター
- ▶京都アライアンス
(地域公共人材大学連携事業)
- ▶(公社)日本観光振興協会
- ▶(学)関西学院大学
- ▶(一財)地域活性機構
- ▶(特非)現代経営学研究所
- ▶ビジネス・ブレイクスルー大学
- ▶(株)経営共創基盤
- ▶(一社)地域経営推進センター
- ▶(株)乃村工藝社
- ▶(学)先端教育機構・事業構想
大学院大学
- ▶(一社)クリエイティブタウン推進機構
- ▶NSG(新潟総合学園)グループ
- ▶(一財)地域活性化センター
- ▶(公財)日本生産性本部
- ▶(一社)日本ジビエ振興協会
- ▶大日本印刷（株）
- ▶生涯活躍のまち推進協議会
- ▶三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）
- ▶（株）つくばウエルネスリサーチ
- ▶筑波大学
- ▶（株）日経BP

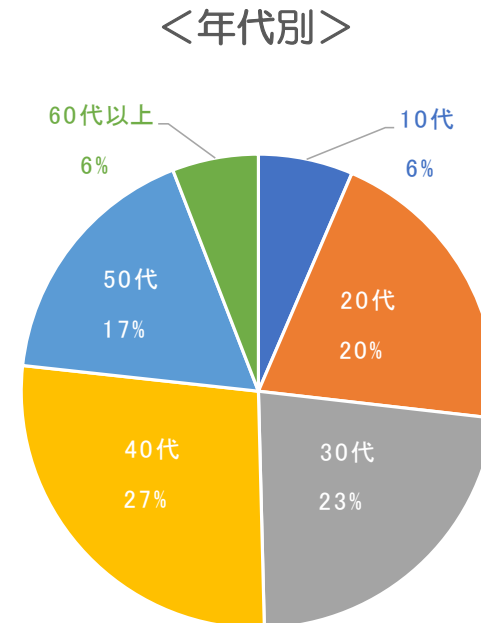
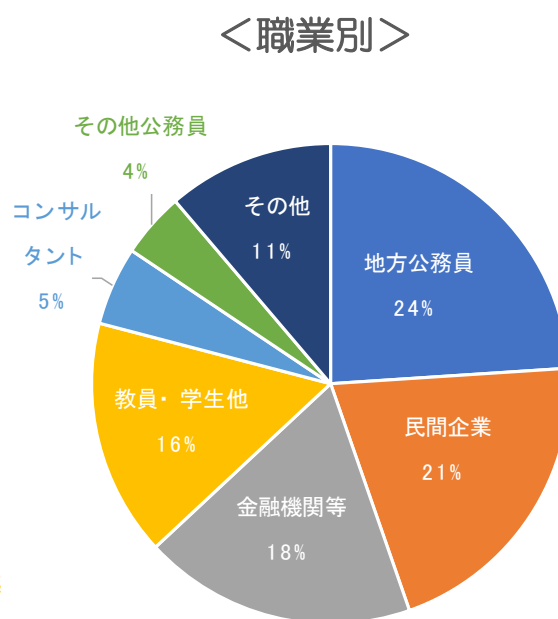
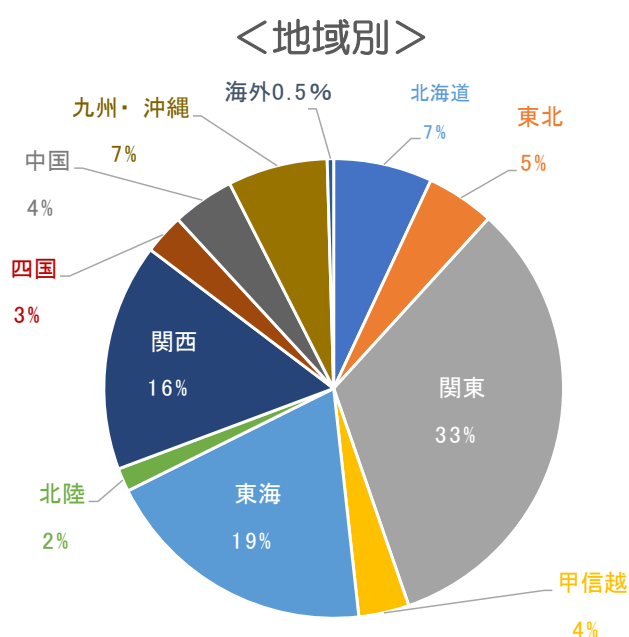
元年度事業の実施状況：受講状況【推移】

□ eラーニングの受講者数は、開講後約1年（平成29年11月）で1万人を突破。その後も順調に増加しており、令和元年11月には2万人を超え、令和2年5月末時点で23,403人まで増加。



元年度事業の実施状況：受講状況【属性①】

- 地域別では、概ね人口分布に準じて幅広い地域で受講されている。傾向は昨年度と比較して変化はない。
- 職業別では、地方公務員が最も多いが、民間企業、金融機関等、教育学生育関係もそれぞれ2割前後と相応の規模で受講されている。
- 年代別では、「20代」から「50代」までの現役世代を中心に幅広い層に万遍なく受講されている。一方、「10代」や「60代以上」は拡大の余地。

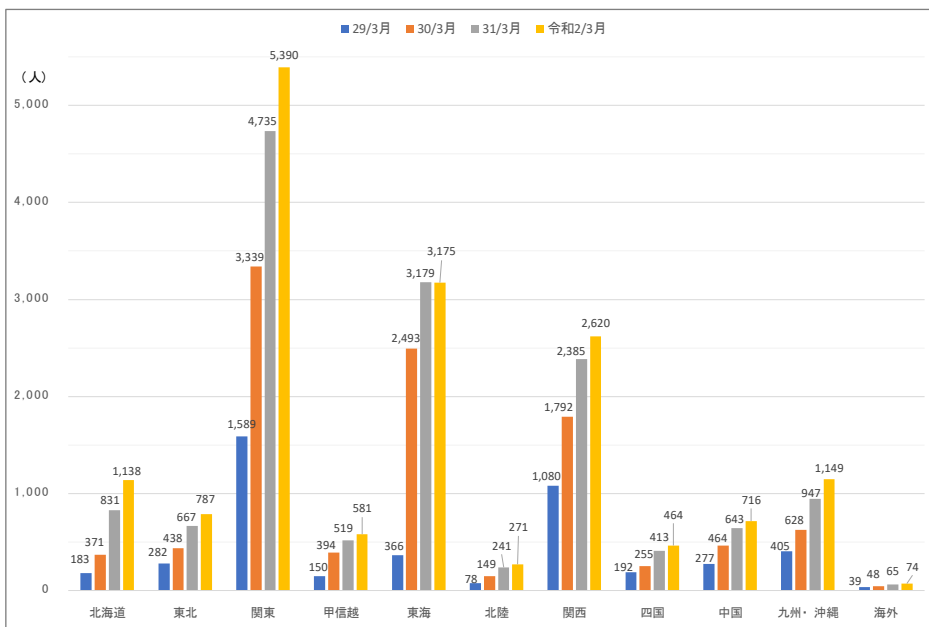


(注) 地域別、職業別、年代別ともに2年3月末時点

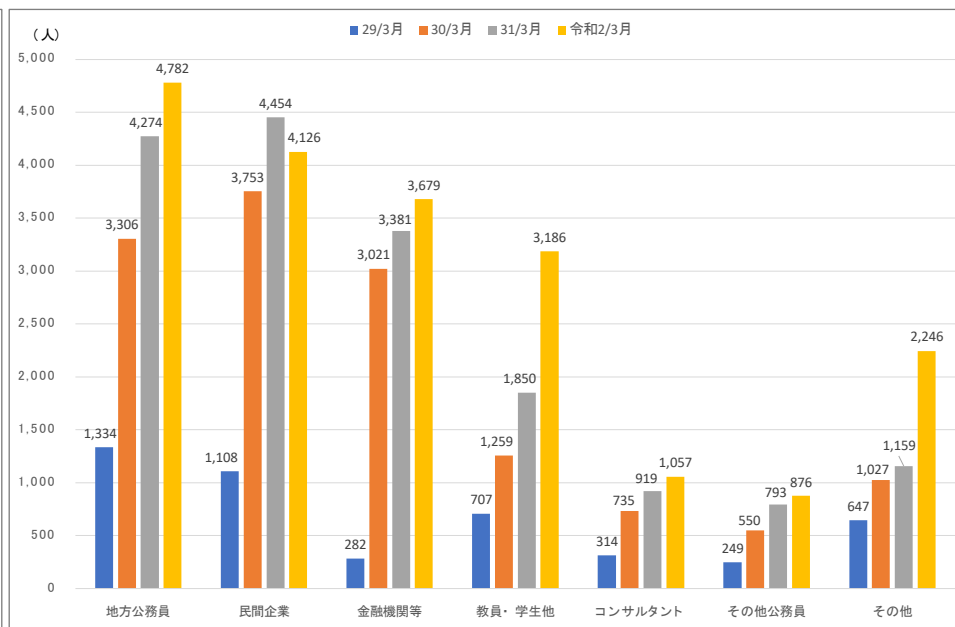
元年度事業の実施状況：受講状況【属性②】

- 地域別の推移をみると、関東圏をはじめ三大都市圏の受講者数が多いが、地方圏も含め年を追うごとに順調に受講者が拡大している。
- 職業別には、地方公務員が最多ながら、金融機関や教育・学生も着実に伸びている。

<地域別推移>



<職業別推移>



(注) 令和元年度から名寄せによる精査を行ったため前年度までと段差が生じている。

元年度事業の実施状況：受講アンケート結果

| 分野 | 講座数 | 構成比 | 受講者数 (延べ) | 構成比 | 満足度 (5満点) | 「満足」の回答が多い講座 | |
|-----|-------------------|-----|--------------|--------|--------------|--------------|--------------------------------|
| 全講座 | 177 | — | 107,576 | — | — | — | |
| 基盤編 | 概論 | 27 | 15% | 21,964 | 20% | 4.05 | “日本の解決策”里山資本主義 |
| | データ分析・戦略の検討 | 13 | 7% | 11,750 | 11% | 4.10 | 効果的なプロモーションのためのソーシャルメディア活用基礎講座 |
| | 事業化・事業推進 | 26 | 15% | 15,046 | 14% | 4.13 | イノベーション【地域創生入門】 |
| | 官民の連携 | 9 | 5% | 6,285 | 6% | 3.99 | 企業会計と非営利会計 |
| | その他 | 29 | 16% | 14,268 | 13% | 4.13 | 人と組織の可能性を開くコーチング実践講座 |
| 専門編 | 総合プロデューサー：概論 | 11 | 6% | 6,486 | 6% | 4.30 | 金融機関による人材紹介事業を通じた中小企業の活性化 |
| | 総合プロデューサー：戦略の事業化 | 10 | 6% | 3,721 | 3% | 4.08 | 地域にも企業にもメリットのあるインターンシップとは |
| | 分野別プロデューサー：観光・DMO | 20 | 11% | 12,990 | 12% | 4.03 | インバウンドの対応 |
| | 分野別プロデューサー：その他の分野 | 24 | 14% | 10,312 | 10% | 4.06 | まちのへそから始まる地方創生:基礎1クリエイティブタウンとは |
| | 地域コミュニティーリーダー | 8 | 5% | 4,754 | 4% | 4.12 | 非主流でいく！地域と外部人材を活かした地域振興 |

(注) 2020年5月末時点

総括：オープンエデュケーションの可能性と課題

- **可能性：柔軟な学習機会の提供**
 - 要望を受けた迅速なコンテンツ開発・提供
 - リカレント教育との親和性が高い課題
 - 学習履歴データを受けた開発・改善
- **課題：自律分散による開発利用の弱点**
 - コンテンツの共有・共同開発の困難さ
 - スケールメリットを活かすためのイニシアチブ
- **課題：雇用との接続**
 - 能力証明の実効性を高める
 - 公的な資格等との接続も考慮する